

鹿児島市消防局の沿革

本市消防の歴史は、昭和23年8月に、消防本部と消防署が南林寺町に設置されたときに始まります。以降、市民の生命と財産を守り、全ての市民が安全で安心に暮らせる防災都市・鹿児島市の実現に向けて、消防体制と救急救命体制の強化を図るとともに、火災予防対策の充実に努めています。

昭和 23年 8月 消防組織法により、南林寺町に消防本部と消防署を設置

昭和 24年 2月 消防本部を山下町の市庁舎3階に移転
高麗町に武消防出張所を設置

昭和 27年 3月 山下町に消防本部を新築移転

昭和 32年 7月 消防音楽隊の発足

昭和 35年 12月 救急業務の開始

昭和 41年 2月 市民防火の日(毎月9日)の制定

昭和 42年 4月 谷山市との合併により、谷山市消防署を谷山分遣隊に改称

昭和 43年 9月 はしご車(30メートル級)の配備

昭和 45年 11月 消防署を中央消防署と南消防署に分割

昭和 46年 10月 市消防本部を市消防局に改称

昭和 47年 4月 救助隊の発足

昭和 58年 4月 南栄五丁目に南消防署を移転

昭和 59年 4月 天保山町に中央消防署を移転

平成 元年 3月 国際消防救助隊への加盟

平成 4年 3月 救急救命士養成事業の開始

平成 5年 8月 8・6豪雨災害

平成 5年 12月 高規格救急車(1台目)の配備

平成 7年 1月 阪神・淡路大震災への応援隊の派遣

平成 7年 6月 緊急消防援助隊への登録

平成 9年 5月 市消防活動支援OB隊発足

平成 9年 7月 出水市針原地区土石流災害への応援隊の派遣

平成 11年 4月 女性消防士を2人採用

平成 11年 9月 台湾地震災害への国際消防救助隊員の派遣

平成 13年 1月 山下分庁舎(現在地)に本部庁舎を新築移転
消防緊急通信指令システムの更新

平成 13年 4月 新栄町に市消防総合訓練研修センターを新設

平成 14年 4月 城西二丁目に西消防署を新設

平成 16年 11月 周辺5町との合併により、吉田分遣隊と桜島西分遣隊、喜入分遣隊を設置

平成 18年 4月 松元分遣隊と郡山分遣隊を新設

平成 19年 2月 高度救助隊(スーパーレスキューかごしま)発足

平成 23年 3月 東日本大震災への緊急消防援助隊の派遣



▲昭和33年当時の出動風景



▲8・6豪雨災害 花倉地区での活動
(平成5年8月)



▲台湾地震災害への派遣
(平成11年9月)



▲東日本大震災での活動
(平成23年3月)



平成23年の火災件数は215件、救急出場件数2万4132件。
常に1秒を争っての出動が続く!



緊急出動する隊員



市民からの緊急通報に
備える通信司令室



市消防力 (平成24年4月1日現在)

■1本部 3署 21本署・分遣隊	479人
■配署車両	105台
（消防車	69台）
救急車	20台
査察車などその他	16台